



おひでん通じ

すべての子どもの幸せのために
話の高い知識を実現させよ

**幼児教育無償化の全国署名活動が大成果
第28回全日私幼 P T A 全国大会で**

安倍総理に432万人の署名を提出

全日本私立幼稚園連合会と（公）

きました。

究機構、全日本私立幼稚園 P T A 連合会の3団体は、政府与党の政権公約である「幼児教育の無償化」の実現に向けて、この春から全園署名活動を展開しました。

回全日私幼PTA連合会全国大臣
」には、安倍晋三内閣総理大臣
始め、下村博文文部科学大臣、
曾根弘文自由民主党幼児教育議
連盟会長などがご来賓として出

A black and white photograph showing a group of approximately 20-30 people in formal attire (suits and ties) standing in two rows in front of a large Japanese flag. They appear to be attending a formal event or conference. The background shows the interior of a large hall with wooden paneling and a stage area.

すべての子どもが良質な幼児教育を受けることができる社会へ—幼児教育の無償化をめざして—

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長 田中雅道

今、先進諸国の中では、國民が幸せな生活を送り、國が豊かになるためには、國家として幼児教育に重点を置くことが常識となりつあります。それは、OECD等の機関が、英米を中心に多くの子どもを長期にわたって追跡調査した総合研究を検証したところ、乳幼児期の保育・教育が社会的・経済的に極めて有効な政策手段であることが、実証的に示されたからです。

豊かで安全な國として発展していくためには、親の就労や所得に関する問題も重要ですが、それ以上に、わらず、すべての子どもが良質な幼児教育を受けることが最も重要です。

そして、その結果として少子化対策にも繋がり、人口構造の歪みが是正され、年金・医療問題の解決や日本の経済面においても豊かな国づくりに寄与します。

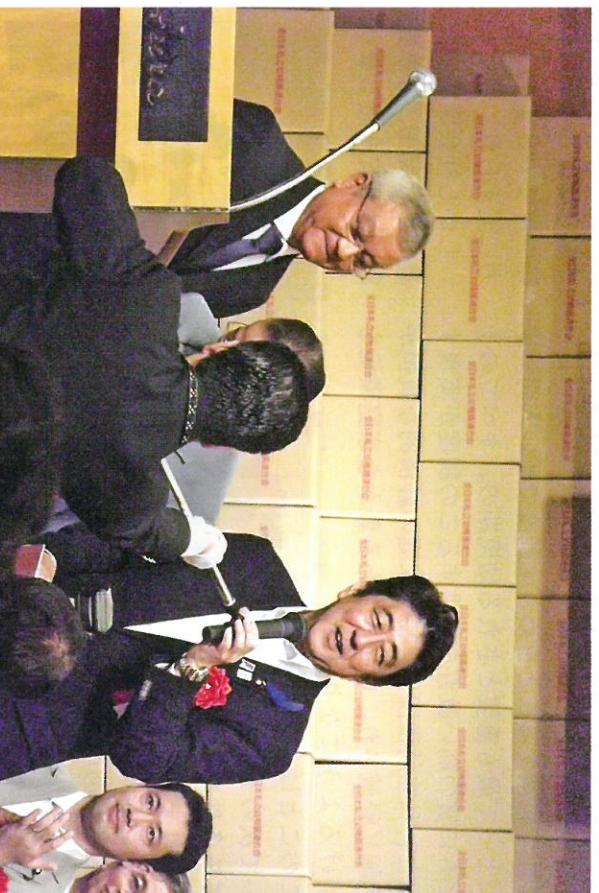
もちろん、無償化だけではなく、

幼児期に公費をかけることは負担ではなく、将来への最も確実な投資であることが先進国では常識である。OECD加盟国の中では出生率が高位であるノルウェーの取り組みのよう、経済的負担の軽減と合わ

となり、お隣の韓国でも幼児教育の無償化が始まりました。 せて、育児休暇の義務化や保育の質の向上を図ることが重要です。

日本 국내의 조사においても、子育て世代においては経済的な支援を求める声が最も強く、少子化でもうらためには、人生の基礎を培う幼児期が一人ひとりの子ども

への対策として最も有効であることが総務省をはじめ、官民の各種の調査から分かっています。保育所待機児対策は、都市部においては短期的に解決することが求められている課題ですが、長期的に日本の社会がこれまでのようににとって充実したものになることが何よりも大切です。そのためには、まずは無償化（＝国家としてすべての子どもの幼児教育に責任を持つ）ということから、日本という国の幸せを実現しようではありませんか。



幼児教育の無償化が大きく前進！
平成26年度から幼稚園児の第3子
が無償、第2子は半額となる方向

大会1部では、河村建夫P連会長、香川敬全日私幼連会長の挨拶を受け、安倍総理から次のようなご祝辞をいただきました。

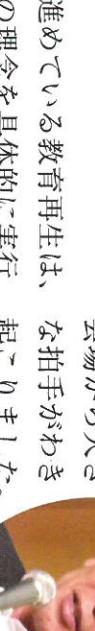
名」の目録が、河村全日私幼P連会長と香川全日私幼連会長より安倍総理にしっかりと手渡されました。

その後、下村文部科学大臣、中曾根幼児教育議員連盟会長からもご祝辞の中で、幼児教育無償化の実現に向けての力強い決意表明を

国家の基本です。
特に幼稚期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切なものです。特に下村文科大臣からは「平成26年度より第1子が小学校に入学していくても3年生までならば、所持制限なし」で幼稚園の保育料は一律

「安倍晋三内閣より、
国が質の高い幼児教育を保障することは、極めて重要と考えています。そのため、第1次安倍内閣では教育基本法を改正し、幼児教育方針を固めました」との幼児教育の無償化を大きく前進させ

を我が国の教育の基本として明記しました。私が今、進めてる教育再生は、教育基本法の理念を具体的に実行する発言もあり、会場から大きな拍手がわき起きました。



続いて月本 喜久全日私幼P連副会長から「幼稚教育の無償化を求める決議文」が読み上げられ、満場一致で採択することです。

など、様々な政策実現に向けて政
府・与党一体となって、また皆様
と手を携えて、取り組んでまいり
ます」

安倍総理から無償化実現の意向
を込めたご祝辞をいただいた後、
全国から寄せられた432万人の
喜朗先生より「世界と日本の子ど
もたち」を演題に、世界各国と日
本の子どもの現状を比較しながら
子育てがいかに大切であるかをエ
ーモアを交えてお話しいただき、
されました。

